

令和3年度 第1回添田町総合教育会議 会議録

日 時：令和3年8月26日 木曜日 11時00分～11時30分

場 所：添田町役場 3階 委員会室

出席委員：添田町長 寺西 明男

添田町教育委員会 教育長 高瀬 光一

添田町教育委員会 教育委員 諫山 哲朗

添田町教育委員会 教育委員 古田 浩治

添田町教育委員会 教育委員 梅野 香理

添田町教育委員会 教育委員 山下 憲香

関係者：添田町副町長 藤田 季弘

事務局：添田町教育委員会 学校教育課 課長 梶谷 敏博

学校教育課 指導主事 高瀬 美智也

学校教育課 課長補佐 木稻 茂

欠席者：0人

傍聴人：0人

議事内容

1 開 会

2 町長あいさつ

- #### 3 議 題
- (1) 令和3年度添田町立津野小学校の現状について
 - (2) 令和4年度以降添田町立津野小学校の運営について
 - (3) その他

4 閉 会

【議事詳細】

発言者	内 容
梶谷学校教育課長	只今より令和３年度第１回添田町総合教育会議を開催します。それでは町長ご挨拶をお願いします。
寺西町長	皆さんこんにちは。コロナ感染症の終息が見えないという状況でございます。その中にありまして、先日の大雨で、添田町も落合のほうで崖崩れと家屋の倒壊、また、１名重症で負傷者を出したというような状況でございます。全国各地からいろいろ、御心配いただきました。国の方でも、昨日、武田総務大臣、そしてその前は、知事、そして、公明党の秋野参議院議員も駆けつけていただきまして、被災地の現場を見ていただき、そのあとの復旧について、力添えしようということでございますが、何分、幸いと申しますか命に別状はなく、重傷ではございますが、今安定しているということでございます。非常に我々も、御承知のとおり山間部で、また山層に、集落が点在するという状況でございます、また高齢化も進んでるという形で復旧はもとよりあり、現在防災に努めていかなければという思いをまた強くしたところでございます。どうか今後とも皆様方の御支援、御協力よろしくをお願いしたいと思います。コロナに関しましては、１２歳から１５歳のワクチン接種の予約を２３日から始めたところでございます。現在のところ、予約状況を５０％、というところでございます。ちなみに添田町６５歳以上の、接種率は、８９．５２％。１６歳から６４歳までが５２％。この予約率は６２％。という形でございまして、全体の接種率は、約６８％というような状況になっております。今後とも、しっかり進めていきたいと思っております。本日は、町の大きな課題でもあります少子化への対応にもなるかと思えます。是非とも十分な御議論、御審議をいただきますよう、お願いいたしまして、御挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。
梶谷学校教育課長	ありがとうございました。それでは議題の方でございますが、会議の議長につきましては町長をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
寺西町長	それでは、進めさせていただきたいと思えます。まず議題の１。「令和３年度添田町立津野小学校の現状について」を議題としたいと思います。

	事務局から説明をお願いします。
梶谷学校教育課長	それでは令和３年度添田町立津野小学校の現状についてです。令和３年度添田町立津野小学校の現状及び令和４年度以降の同校の運営についてですが、まず、令和３年度添田町立津野小学校の現状についてです。これにつきましては、添田町におきましては小学校が５校、中学校１校を設置している状況でございます。この学校の設置につきましては前回の総合教育会議等でもお諮りしたところですが、添田町立小・中学校更新基本計画を策定いたしまして、この基本計画により、令和７年の４月に小中学校の新校舎開校と、小学校統合に向けて現在作業を進めているところです。こうした内容の状況の中で、今年の４月に添田町立津野小学校のＰＴＡの総会において、令和４年の３月に、現在の在校生の６年生が４名おりますが、この４名が卒業することで、在校生が６名となることから、令和７年度の統合といったところから、今後のことも踏まえて、５月に保護者の方への意向調査を行いました。まず、津野小学校の児童生徒数は、現時点では今言ったように、１０名で、学級数は３と、６年生が４名という形でございます。そして保護者の方の意向調査によりまして、津野小学校への通学意向というのは、０人という形です。ただこの０人としていることに対しては、住民の方からの意見等もあって、今いる方の中には、卒業するまでは、津野小学校に通いたいという方の意見もあったが、状況等から考えても、２人だけといったところになった場合、自分たちの家庭だけになった場合ということもあるので、いろんな、状況を考えて、この状況はやむを得ないのではないかということで、保護者の方も一応理解は得ているということで、通学意向０人という形で書いています。８月６日の意見の中ではそうしたことも含めて、単純に数字的なものだけではないということで０人としているのは如何なものかといった御意見もありましたが、意向としては、ある一定の理解をしたところで、こちらのほうに０人という形で書いているということです。そして令和５年度以降の津野小学校の新１年生の見込みについては、令和５年度が２人、令和６年度が１人という形となっていて、これで令和７年度統合という形になるので、現状については、令和５年度以降の児童生徒数はそうした状況となっているところです。こうした状況につきまして、７月１９日に行政区長の３名に現状を御説明いたしました。津野行政区長の方も、こういう状況であるということを認識した上で、津野地区を対象として８月６日に、津野公民館にて説明会を

	実施いたしました。参加者は 17 名、これは地区の方、そして保護者の方も、参加されました。やはり全体的な意見としては、この現状からするとやむを得ないのではないかということでした。意見の中で一つは、やはり津野地区全体のことを今後どのように考えていくのかといった跡地の活用の問題や、スクールバスの問題、そして、先ほどの方が言われたように、住民意向、保護者の意向としては、実際は、通いたい状況であるけれども、事情等によって 0 人となったところの意見も踏まえたところで、といったところの御意見等が出されています。津野小学校の現状ではありますが、8 月 6 日の現状の説明会を行ったというところです。
寺西町長	添田町立津野小学校の現状についての説明がございました。この点に関しまして何か御質問なり、ございましたらお願いします。特にないようでしたら次の令和 4 年度以降の添田町立津野小学校の運営についての説明をお願いいたします。
梶谷学校教育課長	はい。それでは令和 4 年度以降の添田町立津野小学校の運営についてでございます。先ほど説明しました、令和 3 年度、添田町立津野小学校の現状について、本日の教育委員会のほうでいろいろと御判断いただいたところでございます。まず、令和 3 年度の現状でございますけれども、在校生が来年度以降は、通学意向がないという状況から踏まえまして、休校または閉校という形での検討を行っていくということでも、お諮りしたところでございます。そうした中で、まず休校と閉校というのがどういったものかというところで御説明させていただきます。休校と閉校といったものの基準等はございません。手続的な問題としまして、学校閉校の場合は、学校設置条例から津野小学校が削除されるという形になっています。休校の場合については当面の措置という形になります。また児童生徒数の状況などにより、再開といったところも多く検討されるというところですが、現状においては先ほど申しましたように令和 5 年度からの児童生徒数が非常に少ない状況からも、再開というのは難しいのではないかと考えています。閉校か休校かといったところでの御検討を先ほどの教育委員会の中では、図ったところです。そうした中でやはり、閉校といったものであると津野小学校自体がなくなってしまうという観点から、住民の皆様の感情、そして跡地の活用などで考えた場合において、閉校というところではなく休校という形での判断をしてはどうかということでもあります。いずれにせよ令和 7 年度閉校

	するという形になりますので、そうした期間も含めて、まず、児童生徒数などの状況もありますけれども現時点ではやはり非常に少ない状況で、再開する見込みは非常に少ないところです。令和4年度以降の添田町立津野小学校につきましては、令和4年度からは休校という形で、教育委員会としては今のところは判断しているところでございます。以上でございます。
寺西町長	まず1つお聞きしたいのが、これは臨時休業と書かれているが、公式に言うときは休校なんですか臨時休業なんですか。
梶谷学校教育課長	公式の場合も、休校です。
寺西町長	このような状況というのはもう既に統合するというような状況で、検討しなければならない部分もあったのかなと思います。学校が統合するという感じで現在実施計画や、設計が始まろうとしているが、この休校をした場合の、環境整備というか、土地問題も含めての子供たちのケアなどはどのように考えているのか、どのように議論されたのか、そのところをお願いしたいと思います。
高瀬教育長	まだ、具体的なところについては、これから先に詰めていかないといけないとは思っておりますが、例えば、地域説明会の中でも出ていて心配されておりますスクールバスの運行についてはやはり、今の中学校のスクールバスを活用するかまた増便するか、そういったことも含めて、これはやっぱり対応していかなければいけないことだと思っております。そういう意味では、予算が伴いますので町としてもぜひ御検討、御協力いただければと思います。あと、一応休校という形ですが、閉校であれ休校であれ、そこが地域全体の一部、水道の利用であるとか、体育施設の社会教育的な活用であるとか、諸々ございますのでこの辺についても、可能な限り、今の状態が保つという方向で、検討しないといけないなと思っているところです。まだ具体的には申し上げられませんが、諸々出てくる問題については、現状が維持できるようにというふうに思っているところです。
寺西町長	これからというような話だと思いますが、他の部分も含めて早急にやるべき話だろうと思います。教育委員会としては、子供さんに対しての対応というのは、どうされたんでしょうか。特にしてないんです

	か。
梶谷学校教育課長	まず、現在通っている 6 人の方については 3 名の方が特認校という形になっております。そうした 3 名の方の意向におきましては、落合小学校の方に通いたいということは聞いておりますので、落合小学校に行く形になってくると思います。あとの 3 名の方につきましては、先ほど言いましたようにスクールバス等の問題や、意向調査の中におきましてまだ学童の関係とかもございますのでそうしたところも踏まえて、今のところは添田小学校に行く予定としておりますのでそうしたところのフォローは保護者の方を通じて、今後も行っていきたいと考えております。先ほど言いました特認校の方につきましては、基本的には、バス等がございませんので通学等は御自分で行っていくというふうな形にはなります。津野の方から通っている児童生徒、そして新しく新入学する子につきましては、スクールバスの対応そして、学童保育での受け入れといったところを添田小学校とも詰めていって、今後対応していきたいと考えております。
寺西町長	子供たちがどうなのかなっていうのが 1 番思ったりしたのですが。
高瀬教育長	休校や廃校になったらどうするというようなことも含めたことは、残念ながらしておりません。
寺西町長	副町長何かありませんか。
藤田副町長	やはり学校がなくなることについての住民感情というのは大事にしていかなければいけないと思う。ただ、今後町としてどうやっていくかということはとても大事なことで、これがセットとしてですね、津野はこういう方向でいくんだというふうなものを私も含めて、立てていかなければいけないので、今後教育委員会としても、委員さん方にも、津野にとってはこういうものが要だというような情報交換などをしていただきながら、意見をこちらのほうにもいただければというふうには思っております。質問ではないですけど。以上です。
寺西町長	私も今、言ったとおりだろうと思いますけどそれはやっぱり主体は教育委員会。町としてはどうするのかというのももちろんありますけど、教育委員会がどうこれを持っていくのかどうするのかというのは主体

	になってやって、考えていくべきだろうと思います。住民の皆さんの意見も、もちろん聞いているんだろうと思いますのでそういう意味合いでは先ほど私も申しましたが、やっぱりずっと待つのではなく、これを機会にというのはおかしいですが、反省を込めて、やっぱり今すぐにでも色んな問題、学校の今後の運営の問題についても、やるべきだろうというふうに思います。我々の意見に対しての、御意見なり、ございませんでしょうか。この総合教育会議においてもやっぱり現状、休校という形で持っていくのがいいのかなと思います。当初、統合するんであれば閉校したらどうかという感じも持っておりましたが、先ほど教育委員会の議論の意見も、いろいろ聞く中でやっぱり、休校が私自身も妥当かなというふうには思います。それでこれはもう仮定の話で今、先ほど課長が申しましたが今後増える見込みもないというような形がありますけど、休校にしなければ理屈的には、増えれば、津野小学校に行きたいというような形が出てくるとやっぱり、また開設するというような理屈になるんですかね、これは仮定の話でまた、現実性のない質問かもわかりませんが。理屈としては、またあり得るわけですね。
高瀬教育長	あるかないかで言えばあると思います。
寺西町長	と申しますのもいろんな施策の中で、要するに人を押し寄せる、呼び込むというような中で、津野に住んでみようか、落合に住んでみようかという子供さんが出てくる。そうした中で、小学校があるなら津野小また中元寺小学校管のそちらに行かせるとかというような、形も、でないとそれが、どんな人数というような、これは当初の統合のときの議論でもあったような形ですけど、そういうところまでも、心配する必要な心配というか想定しての対応はないかと思いますが。そのところも理屈的にはあるというような形になるわけですね。いろいろ議論されてるかと思いますが、まず一つはやはり、現状を見ますと、休校という状況だということで、そしてそのための、環境整備、他の問題等も含めまして環境整備では、すぐでもいろいろ議論をまたしていくという形で、今回、添田町立津野小学校の、令和4年度以降の運営は、そのような対応でいくということでよろしゅうございましょうか。はい。そのような方向で、決めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。次にその他でございしますが、何かその他ございしますか。

梶谷学校教育課長	こちら報告的なものになるのでございますけれども、先ほども申しました、明日、添田小中学校建設設計関係のプロポーザルのほうを、行う予定としております。現時点では4者出ておりますが、この4者を選定し、委員の皆さんで選定いたしまして、上位業者と今後、契約を結びまして、基本設計実施設計施工管理といった形で、進めさせていただきたいというふうに考えておりますので、簡単でございますけれども、その他といった形でございます。
高瀬教育長	一つ、今日はこの総合教育会議の場でも、津野小学校につきましては、御審議いただきありがとうございます。あとは、現、在校生、それから、来年度の、新1年生にかかわってきますので、早急に、保護者にお知らせをする必要も出てまいりますので、本日のこの件につきましては、速やかに、この議会始まる前に全協等では、報告をさせていただいた上で、ホームページ等で、9月には間に合わないかもしれませんが、できる限り早い形で、もう周知、全庁的なことも含めて、周知、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。
寺西町長	はい。ほかにございませんでしょうか。ほかに一つ。ほかの学校は、このような状況というのは、考えられるんですか。ほかのというのは、要するに小学校です、小学校の。
高瀬教育長	はい。昨日町内の校長会があった際に、来年度の予想推測ですが、児童生徒数について一覧表にして、はい、資料配付したところです。で、実際的には複式学級がふえる可能性とか、というようなことがございますが、今のところ、津野と同じような話になっていく状況はないというふうに考えております。ただ、先ほど申し上げましたように、今回の件を周知する中で、若干、もうそれなら、私たちもというようなところがですね。出てくる可能性はあるかなとは思っております。ただそれはちょっと全く今のところ予想つきません。
寺西町長	そのときは、すぐこのような状況で対応するということを受けるという話なんですかね。
高瀬教育長	その次に、少ない落合小学校でも来年25名の予定ですので、若干名でも、即、津野と同じような状況にはなりにくいかなと思っております。

	す。
寺西町長	そういうものもまた注視して、よろしくお願いします。ほかにございませんでしょうか。ないようでしたら、本日の、総合教育会議を閉じさせていただきます。